

こもれび

第 45 号

平成29年4月に社会福祉法の一部改正が施行されました。麗寿会ではこれまで社会福祉法人としての役割を認識しながら事業運営を行ってきましたが、改革の基本的視点である「公益性・非営利性の徹底」「国民に対する責任」「地域社会への貢献」を真摯に受け止め、さらに堅実な法人として歩んでまいりたいと考えています。

中でも、超高齢化社会を迎え、福祉ニーズも多様化、複雑化する中で地域社会に対してどのような貢献ができるか、法人としての課題であると考えています。

今年度も各種サロン活動への参加、ボランティアとの交流、地域ケア会議の実施、認知症カフェ等の地域福祉活動の継続と、関係機関や地域の皆様との連携を図り、地域のニーズの把握と適切できめ細かなサービス実施に努めてまいります。

理事長 大屋敷 幸志

● 認知症カフェの取り組み

2015年介護保険法の改正で、日常生活支援総合事業（総合事業）が新たに始まりました。麗寿会でサービス提供しております茅ヶ崎市、鎌倉市、寒川町でも2017年4月から本格的に総合事業が開始されます。

今後、総合事業では住み慣れた地域で、なるべく介護状態にならずに自分らしい暮らしを継続していくために、公的なサービスに加え、地域住民主体のサービス、NPO法人、企業など多様な機関と連携し様々なサービスを地域に創出していくことを目標に掲げています。

また、今後の高齢者の福祉的な課題として、認知症について本格的に議論されています。現在日本での認知症に関する統計では、軽度認知障害を含めると約800万人もの認知症高齢者がいるという報告もあります。これは、65歳以上の高齢者の4人に1人が認知症の人ということになります。それに対して厚生労働省は「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」を策定し認知症があっても地域で安心した生活が続けていけるよう、多様な計画を実施していく方針を示しました。この新オレンジプラン内の一施策として、認知症カフェの設置があげられています。

これらの介護保険情勢や、実際に地域で必要とされているであろう福祉サービスを見据えて、麗寿会では社会福祉法人としての公益事業の一環として、ケアハウスふれあいの里の空きスペースを活用し、認知症カフェをこの4月より月1回のペースで開催していきます。

法人設立当初から25年に渡り培ってきた認知症ケアのノウハウを生かし、認知症の当事者の方やそのご家族、地域住民が気軽に集まり、共に語らい交流でき、誰もが障害を持っても安心して生活できる包摂型の社会を目指すべく、まずは茅ヶ崎市のふれあいの里から取り組みを始めたいと考えております。皆さまにお越しただくのを心よりお待ちしております。



場 所 ケアハウスふれあいの里

日 時 4月16日(日) 5月20日(土) 6月18日(日)
7月22日(土) 8月20日(日) 9月16日(土)

参加費 おひとり100円

お問い合わせ 0467-54-9111 ふれあいの森

2017
4.1

No.

45

1 理事長からのメッセージ	1 認知症カフェの取り組み	2 ふれあいの麗寿
3 ふれあいの森	4 ふれあいの泉	5 ふれあいの里
6 ケアセンター茅ヶ崎元町	7 ふれあいの家 こすもす	7 ふれあいの家 みのり
8 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり	8 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず	
8 小出地区地域包括支援センターわかば	8 編集後記	

● ふれあいの麗寿

ふれあいの麗寿は、平成28年10月の開所からおかげさまで半年が過ぎます。

施設のボランティアは、ご家族が歌のボランティアをしてくださったことから始まり、フラダンス・ミニコンサート・ギター演奏、そして地域の皆様の傾聴ボランティアの輪が広がろうとしています。

天気の良い日、風も穏やかな日は、5階の屋上で日向ぼっこ、富士山を見ながら「富士の山」を歌ったり、「向こうは江の島よ」「海よ」の指さす方向を見ながら「私の家はどっちかな?」とつぶやきながら笑う利用者様。

こんな日は心に羽が生えたように気持ちも軽くなるようです。

「節分の鬼は可愛かったね」「この施設の鬼はこわくないよ」そんな会話の節分も終わり、「鳥井戸橋のお祭り」がありました。寒い日のお神輿見物、ご利用者様はエントランスから見学です。3月に入り、ひな壇を1階のロビーに飾りました。「お雛様は年を取らないね」ご覧になったご利用者様が笑いながら話します。

ご利用者様のお気持ちに寄り添いながら職員一同、頑張っています。交通の便が良く地域住民も多いこの施設、四季折々の行事を提供しながら、今後ますます地域との交流を深めていきたいと思います。

ボランティア担当：相田



ふれあいの森

特 養

ふれあいの森では、行事を通して地域との交流を大切にしています。行事の例として下寺尾地区の神輿訪問や幼稚園児との交流会があります。

御神輿は多くの皆様が来られ、熱気と活気に包まれる時間となっています。幼稚園児との交流会では職員では引き出すことの出来ない優しい表情を見せて下さいます。また、外出レクでは寒川神社の初詣や近くの淨見寺のお花見など、普段とは違った表情を見せていただける良い機会となっています。他にも下寺尾地区の自治会の皆様にも森の防災訓練にご参加いただいています。

ふれあいの森は25年目を迎えました。これからも地域に根付いた信頼される施設を目指して行きます。



デイサービス



ふれあいの森デイサービスでは、ご利用者様中心のケアを目指し、ご利用者にとって楽しみがあり、ご本人の望む生活を支援したく取り組んでいます。

趣味や興味のある事を行ったり、ユーチューブを活用して回想法や仲間作りを行ったりしています。体操教室では、先生に合わせて元気に体を動かしたり、音楽療法では大きな声で唄ったりと楽しいひとときを過ごします。

地域との交流も積極的に行い、地域の皆さんに多くお越し頂き交流を深めています。世代間交流では「雛祭り交流会」として市内5つの保育園の園児さんと10数年交流を続けています。又、様々なイベントを企画しご利用者様の想いや願いに添える様に取り組んでいます。

地域の中での施設、今後も地域の一員として交流を深めていきたいと願っています。お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。

● ふれあいの泉

【獅子舞】

このお正月も恒例の今泉町内会の獅子舞がやってきました。正月気分満点です。

笛の音とともに獅子が登場。お年寄り一人一人に向っていきます。

大人の獅子は迫力があり、豪快に舞っては皆様の頭をガブリと噛んでいきます。

頭を噛むのは邪氣退散のためです。昔からのことですのでよくわかっておいでで、進んで頭を出される方もいらっしゃいました。また子供獅子も後をついてまわり、可愛らしい姿にお年寄りは目を細めていました。

ぜひ来年も噛みに来てください。

【初詣】

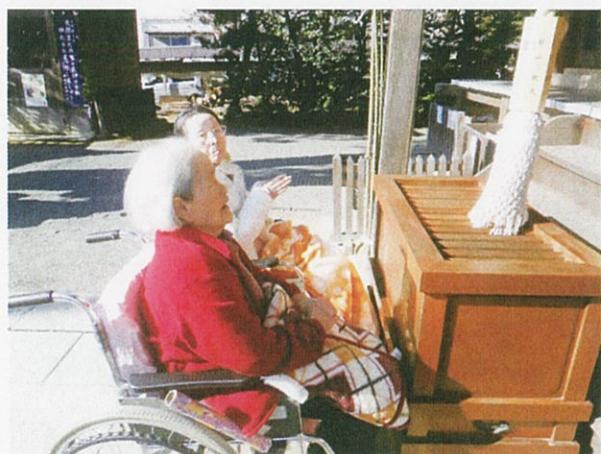
そして別の日には、車で10分ほどの所にある五社稻荷神社へ初詣に出かけました。

ここは車が目の前まで付けられる上に、3が日を過ぎれば人出がそれほどでもなく、車椅子の方でも安心してお参りができる穴場です。

寒さはあるもののまずまずのお天気で、5日間に渡り32名の方をご案内できました。

やはりお正月は初詣が習慣です。ご参加された方は神様の前で、しっかりとお参りをしていらっしゃいました。何をお願いされたのでしょうか?やはり健康でしょうか。ご家族のことでしょうか。

毎年こうやって参拝に行きたいものです。



● ふれあいの里

【新年祝賀会】

新年おめでとうございます。

大屋敷理事長が注いでくださった屠蘇酒の杯に新春の光が映ります。乾杯の第一声で、里の穏やかな一年が始まりました。美味しいおせちを頂きながら、にっこり写真に納まったり、楽しい話し声が飛び交う新年の祝いの席はこのひとせの幸せを予感するような素敵なお時間となりました。

今年もよろしくお願ひいたします。



【節分】

今年は三人の優しい鬼が里に下りてきました。勢いよく投げられた紅白の玉は次々に鬼に命中。ほうほうの体で逃げ出した鬼さんも厄払いの役に立てたことがうれしそうな後姿です。

福を呼び込んだ後のお茶の美味しさは格別でしたね。

【観梅ツアー】

小田原に向かう車の走りにあわせ、富士山が大きく目の前に迫ってきます。今日は、曾我梅林に出かけました。

青い空、雪をかぶった富士の山を背景に、梅の芳しい香りに包まれた散策は一枚の絵葉書の光景のようです。お好みの昼食を頂き、帰りはきらきら光る海を見ながら心が開放されるドライブとなりました。

【藤沢芙蓉幼稚園との交流会】

2月27日、芙蓉幼稚園の園児の皆様との交流会をひらきました。

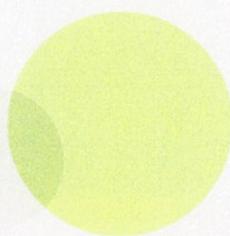
すばらしい楽器演奏、歌声がふれあいの里に響きわたり、たくさんの元気を頂きました。園児の方とペアを組んでの手遊びや肩たたきのふれあいは心を癒す時間となりました。

小さな体からあふれるエネルギー、肩に残る小さな手のひらの感触に輝く未来を感じます。芙蓉幼稚園の皆様有難うございました。

「 プラボー! プラボー! プラボー! (ありがとう・すてき・じょうず・がんばったね そんな気持を芙蓉幼稚園ではプラボーで表すのです。)

【ミモザリース】

毎年、里の庭に黄色いミモザの花が咲き誇り、春を知らせてくれます。今年はミモザで幸せの春のリースを作りました。



● ケアセンター茅ヶ崎元町

ケアセンター茅ヶ崎元町は、日常生活の中で、ココロもカラダも更に元気になれて、生活の潤いも増す『もう一つの自分の居場所』を目指しています。

今回は毎月来ていただいているボランティアの方の紹介をさせていただきます。

ケアセンター茅ヶ崎元町が、元町ケアセンターとして運営し始め15年が経ちます。

合唱・楽器演奏・ダンス・日舞・詩吟などを毎月披露していただいている団体が18あり、延べ人数は100人位になります。その他に毎週入浴後のドライヤーかけ、食事の配膳・下膳、利用者の話し相手、レクの補助などに来ていただいている方が10名位います。

ボランティアに来ていただく方も殆どが65歳以上であり、中には70歳後半から80歳台になっている方もいらっしゃいます。それぞれ公民館などで定期的に練習をされ、発表の場としてケアセンターに来られている方も沢山いらっしゃいます。

披露される歌もご利用している方がよく知っている曲が多いため、演奏を一方的に聞くというよりは一緒に口ずさめる時間となり、どの方達の活動も利用者に好評となっています。その活動を通して利用者だけでなく、ボランティアに来ていただいている方の『生きがい』となっており、健康を維持する活動になっています。

矢車草



「萬屋歌右衛門（よろずやうたえもん）」様



えぼし会 オカリナ&ギター



● ふれあいの家 こすもす

新年、いつも花屋さんに頼んでいる正月飾りのお花を、入居者様に生けて頂きました。いかがでしょうか。実物は写真よりはるかに豪勢でした。女性の入居者様が多いので今年は生花クラブでも始めようかしら。

どんど焼き、初詣も兼ねて近くの神社に全員（17人+職員+家族+ボランティア）で行きました。どんど焼き用の団子は皆さんの手作りです。美味しかったですよ。お賽銭もしっかり投げて來たので、入居者様の願い、今年の抱負が叶いますように。

子供達と楽しいひとときでした。



お正月の飾り花



どんど焼きにて



子育て支援センターと合同でウクレレ演奏会

● ふれあいの家 みのり

ふれあいの家みのりは、湘南を代表する茅ヶ崎海岸近隣に立地し、潮の香りが漂う閑静な地域にあるグループホームです。さらに近くには由緒ある住吉神社がございます。海と空と歴史ある南湖地域に身を委ねながら、家庭的な雰囲気で自分らしくゆったりとした生活を送っていただいております。

年末は餅つきを、年始はご近所の住吉神社へ初詣に行き、今年一年皆様の無病息災を祈願しました。1月3日にはみのり恒例行事である箱根駅伝大会見物に行きました。テレビでは味わえない雰囲気の中、ご入居者様は身を乗り出し大きな声援で旗を振ってランナーを応援されていらっしゃいました。

今後も地域性を活かした行事をご提供させていただきます。



● 鶴嶺西地区地域包括支援センターみどり

3月12日に鶴嶺西地区社会福祉協議会の主催で日中一人暮らしをされている高齢者の皆様を対象とした「一人暮らし高齢者昼食会」が開催されました。包括支援センターみどりもお招きいただき、アトラクションとして認知症予防のための頭と身体を使う運動「コグニサイズ」を皆様と一緒に行いました。終始和やかな雰囲気のなかで皆様とお話しやアトラクションを楽しむ事ができ、大変有意義な会となりました。今後も地域住民の皆様と顔の見える関係づくりができるよう努めていきたいと思います。ありがとうございました。



● 茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆず

茅ヶ崎地区地域包括支援センターゆずでは、今年度から担当地区的ケアマネージャーと協働するため、サロンを定期的に開催しております。昨年秋には地域ケア会議を主題にサロンで勉強会を行いました。そして今年3月には地域住民とケアマネージャーと一緒に模擬地域ケア会議を開催し地域住民と専門家で交流する機会を持つことができました。地域の誰でもが安心して住める街づくりに今後とも貢献していきたいと思います。



● 小出地区地域包括支援センターわかば

福祉相談室わかばが小出地区社協と小出地区民生児童委員との共催で「ほしつ☆メソッド」を開催しました。茅ヶ崎市家庭児童相談室の伊藤徳馬氏を講師に招き「ほめる しかる つたえる」をテーマに子どもへの叱り方を学ぶこの講座には子育てサロンむくろじに来ているお母さん9名が参加されました。2人1組のロールプレイを通じ実践に向けた練習を重ねていくのですが、笑いながら楽しく学べたためになった、と皆さんから好評頂きました。



編 集 後 記

平成28年10月に茅ヶ崎市南湖の地に開設しました新特養「ふれあいの麗寿」に本部機能を移してから、半年が過ぎました。

この間、利用者の方に対する安心安全なサービス提供はもとより、地域の「安全なまちづくり」に少しでもお役に立ちたいと、地域の防災連携に加えていただきました。地元3自治会の会長様はじめ、各分野で活躍されたOB・OGの皆様からも、想定される災害事象についてご意見を伺いながら、茅ヶ崎市防災課と協議を重ねて、このたび地元3自治会と「津波協定一時待避に関する協定書」を締結しました。

本年2月には、自治会主催による「避難経路確認訓練」も無事終えたところです。今後も災害を正しく理解し、正しく恐れ、地域に適した防災計画と体制作りのお手伝いをさせていただきたいと思います。

これからも皆様のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法人事務長 鳥羽 芳弘



社会福祉法人麗寿会では、行事やイベント、各施設の取り組み等を『facebook』にて随時公開しております。

麗寿会WEBページからのリンク、もしくは本誌QRコードからアクセスできますので、ぜひご覧頂ければと存じます。